

2018年2月をもってチエノワ第五期が
終わり、第六期をスタート致しました。

この1年は「智慧の燈火プロジェクト」に
全力を注ぐべく、社内体制やその他案件を
含め、大きく変革に取り組みで参りました。
今回このようにコラムを書かせて頂くにあたり、
1年間支えて下さった東京海上日動
火災保険の皆様をはじめ、多くの長寿企業
さま、フォーラムでご後援を頂いた各自治体、
企業さま、また共に歩んでくれたメンバー、
そして家族や様々な場面で支えて下さった皆
様に心から感謝申し上げます。本プロジェクト
はどの企業においても、いや誰ひとりとし
て取り組まれて来なかった「道なき道」を一
歩一歩手探りで進んでいます。その中、当
り前のように会社が継続でき、共に働くメ
ンバーに給与を支払うことができ、そして
共に築いたものがたりを通して多くの方々
に感動や感謝を頂戴し、更には30年間のピ
ジョンも明確に示すことができていることは
本当に有難く、私一人では決して導くことが
できなかったことである、とつくづく感じて
おります。改めて、本プロジェクトに携わっ
て下さる全ての方々に感謝申し上げますと共に、
2018年度も皆様のご多幸とご発展
を祈念しております。

まずは、2017年度を①出会いからも
のがたり創造への軌跡、②全国各地への展開、
③燈火同窓会の立上げと3点にまとめ、
振り返りたいと思います。

①出会いからものがたり創造への軌跡。長寿
企業の皆様へのご訪問は500社を越え、
共に「ものがたり」を遺すことができた企業
は100社を越えました。創業から様々な
危機を乗り越えながら革新を続け、連続と
繋いでこられた「ものがたり」は世界でたつ
た一つ、唯一無二の価値があり、これを長寿
企業の社員（共に働く仲間）、そして家族の
ために遺していくことで、時を超え、世代
を超えて語り継いでいける仕組みを構築
することができました。更にこの「ものが
たり」コンテンツを活かした社内総会や人材



「地方創生に係る包括的連携に関する協定締結式(熊谷市)」にて東京海上日動火災保険の皆様とのワンショット

採用への展開、周年企画の立上げ・運営と
新たな「ものがたり」の1ページ1ページを
私たちチエノワと一緒に創造させて頂け
たことは本当に嬉しく感謝で一杯です。
2018年度も共に歩んで参ります。

②全国各地への展開。地域での取組みに目を
向けると、7月には広島、12月には新潟と「地
方創生経営者フォーラム「伝燈と志命」を開
催致しました。広島県開催では、広島県、
広島銀行、広島テレビ放送、広島商工会議所、
中国新聞社、広島エフエム、広島県商工会



東京都中小企業振興公社「事業承継フォーラム2018」で、船橋屋 渡辺社長とのワンショット

議所連合会にご後援いただき、100名以
上の経営者へ、また新潟県で開催したとき
には、新潟県、第四銀行、新潟県商工会議
所連合会、新潟経済同友会、新潟商工会議所、
T E N Y テレビ新潟、新潟日報社と地域
を支える「ネクスターハブ企業」の皆様にご
後援頂き、地域の宝である長寿企業の知恵
を160名以上の地域企業・経営者へ届け
ることができました。2018年度に向け
ては全国6〜8ヶ所での開催を目指し、一つ
ひとつのご縁を繋いで参ります。更に、地
域行政の企画をお手伝いするご縁を頂き、



「第2回地方創生経営者フォーラム・新潟 伝燈と志命」にて開催の挨拶

「智慧の燈火プロジェクト」

ちえ

ともしび

第一幕 始動

東京都中小企業振興公社さんや埼玉県熊谷市さんとご一緒しました。彼らの課題である事業承継や地域の発展（知恵の伝承）にむけて、イベントや番組・雑誌・ウェブサイトを等の本プロジェクトの仕組みを活かし、ご一緒させて頂き、継続的に付き合いたいとお声を頂いたことは、有難い限りでした。2018年度はより多くの地域行政の皆様ともご一緒できればと考えております。その他、市政100周年とし120を越える取組みを実施された東京都八王子市さんとは、石森八王子市長のインタビューを通して、数年前から立上げられた周年プロジェクトチームや応援団、更には実際に実施した上での想いをまとめさせて頂きました。自治体の皆様への取材を通して、地域と、そこに生きる人々のリアルな声に歴史の大切さを再認識するとともに、それぞれの地域で長寿企業が果たしてきた役割、住民の方々との絆、深い信頼関係でつながっていることを改めて感じることができました。

③燈火同窓会の立上げ。本プロジェクトを通して数多くの「ものがたり」を長寿企業の皆様と共に遺させて頂く中で、「是非ともこのご縁をつなげてみたい！お会いした素敵な長寿企業の皆様同士をお引き合わせたい！」という私自身の想い、そして、打合せや収録時にお話している際、「同地域・同業種の方々とは定期的に会合があり交流はあるものの、その他の長寿企業の皆様と

深くお話ししたことはないなあ、してみたいなあ、少ない人数でゆつくりと（笑）」という皆様からの声も多数頂く中に、「社員以上に広く、また家族以上に深く長寿企業ならびに社長について存じ上げているからこそ、皆様を引き合わせる機会をつくらう！」と社内で突然発表し、構想から実行までまさに1ヶ月半というスピードで立上げました。正直、当日に参加者が集まるのか、また面白い企画になるのか、と不安もありましたが、業種も業態も異なる中に、同じく100年以上連続と続いていた歴史を持つ長寿企業同士が集い、語り合う中では、必ずそれぞれに良い気づきや学びが生まれ、更には「化学変化」が起きるに違いない！とワクワクしながら、準備致しました。何代にも渡る「のれん」を受け継ぎ、繋いでいく使命を持つて生まれた方々にしかわからない悩みもあります。それを初めてお会いしたにも関わらず、「瞬で打ち解け、悩みや実体験を語り合う姿、そして帰り際には子どものような満面の笑みで別れることができたことが、私たちの想像を遥かに超え、長寿企業の皆様にとって価値のある企画（燈火同窓会）であると確信しました。同窓会での出会いを通して、新たなコラボレーション企画も幾つか生まれ、このスピード感で物事が進む背景には、お互いが長年積み重ねてきた信用が有るからこそ成り立つものである、と改めて実感致しました。更には、「のれんを繋ぐ息子や娘を集めた会や婿同士が気軽に

に集える会も是非とも実現して欲しい」という声を頂戴し、2018年度に「一つひとつ実行していく所存です。また、東京だけでなく、日本全国の地域での開催をはじめ、他エリア同士の会（例えば東京×新潟）と様々な企画を立上げていきます。さて、2018年度に向けては2017年度に積み上げてきた仕組み（番組や雑誌、ウェブサイトを通過して、ものがたりを発掘していくこと）を改善しながら、エリアを従来の東京だけでなく埼玉・神奈川・千葉と関東圏へ広げ、地方創生経営者フォーラムは日本全国6〜8ヶ所へと展開して参ります。その上で、3つの改革に着手致します。

フォーラムへ参加頂いた皆様から「定期的に情報を届けて欲しい」との声を多数頂いたことがキッカケで、新たなチャレンジを実行することを決意しました。

③長寿企業に特化した、世界唯一のメディア開設。2017年度は長寿企業1社1社の「ものがたり」を遺し、社員や家族の皆様を活かして頂くためにウェブサイトを築いて参りましたが、こちらはそのまま継続しながら、別途、国内外のメディアに向けた、長寿企業に特化した世界唯一のメディアを立上げていきます。地域と共に、そして時代の流れと共に、革新を続けられている姿にフォーカスし、そのエッセンスを届けます。気づきを生み出すだけでなく、更に一歩踏み込み、「自らの経営に活かすためには、どうしていこうか」と思考を巡らせ、行動を起こせるコンテンツを創造していきたいと考えています。正式ローンは2018年7月〜8月を予定しています。

上記の通り、2018年度も「日本が誇る世界遺産（長寿企業の知恵、千社万様のものがたり）」を発掘し、次の世代・時代へと遺していく」というミッションのもと、支えて下さる皆様と共に、長寿企業の知恵を繋ぐ世界唯一の寺子屋プラットフォームを、一段一段と着実に築いて参りますので、本年度もご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



鍋茶屋にて柳都振興(株)・新潟三業協同組合への取材



燈火同窓会でのワンショット(右は(株)土橋国 土橋社長)



番組映像の試写会にて茂木商事(株)(innocently)の皆様とのワンショット



田中 雅也

株式会社チエノワ 代表取締役

1986年石川県金沢市生まれ。

2008年筑波大学卒業後にPR会社へ就職。

「メディアウェーブ=発掘力(ネタ)×アイデア力(工夫)×継続力(仕組み)」理論を用いたメディア露出・話題づくりに従事し、年間180社以上の広報・PRを手掛ける。

2013年に独立し、チエノワを設立。テレビ各局でビジネス番組、経済番組等を企画。PR・ブランディング手法としてピラミッド戦略を提唱し、年間200社超の企業を手掛ける。

2015年、長寿企業との出会いをきっかけに、現在の「智慧の燈火」プロジェクトを発足する。